

★言語理解とコミュニケーション研究会 (NLC)

専門委員長 榊 剛史 副委員長 吉田光男・嶋田和孝
幹事 渡辺靖彦・東中竜一郎 幹事補佐 小早川 健・坂地泰紀

★音声研究会 (SP)

専門委員長 河井 恒 副委員長 李 晃伸
幹事 南條浩輝・小川哲司 幹事補佐 郡山知樹・井島勇祐

◎本研究会はNLC研究会とSP研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 12月4日(水) 10:20~17:25
5日(木) 10:00~15:20
6日(金) 9:30~17:30

会場 NHK放送技術研究所(世田谷区砧1-10-11. 小田急線:成城学園前駅からバスで10分. <https://www.nhk.or.jp/str/about/access.html> TEL [03] 5494-3190)

議題 第6回自然言語処理シンポジウム&第21回音声言語シンポジウム

自然言語処理シンポジウム

4日午前 文書分類

NLC-1. メディアの特性によってニュース記事を分類する試み 関 喜史 (Gunosy)

NLC-2. 契約書テキストの特徴分析とその自動分類の試み—リーガルテックへの応用に向けて—

○藤井美娜・岩城安浩 (GVA TECH)・加藤恒昭 (東大)

NLC-3. LSTMの前処理としての特徴選択の有効性 ○古賀詩織・峯 恒憲・廣川佐千男 (九大)

4日午後 招待講演

4. [招待講演] 計算モデルを用いた第一言語獲得研究—統語的・意味的言語知識の獲得を例に—
折田奈甫 (東京理科大)

言語処理応用

5. 固有表現抽出によるブログテキストからの品名・店名抽出 ○池田流弥・安藤 秋 (香川大)

NLC-6. 地域の特有性を考慮した旅行ブログの検出・推薦手法 ○芳 瑛瑩・魏 逸倫・韓 東力 (日大)

NLC-7. テキストマイニングによる、臨床研究関連法令の特徴と関連性解釈の可能性

○大城絢子・植田真一郎 (琉球大)

埋め込み表現

8. BERTを利用した文書の特徴ベクトルの作成 ○田中裕隆・曹 類・白 静・馬 ブン・新納浩幸 (茨城大)

9. 文字符号化方式に基づいたマルチバイト埋め込みによる形態素解析 ○松野智紀 (LAPRAS)・林 克彦 (東大)

10. Encoder-Decoder モデルを用いた対訳コーパスからのマルチリンガル単語分散表現の獲得

○和田崇史 (奈良先端大)・岩田具治 (NTT/理研)・松本裕治 (奈良先端大/理研)

11. 文脈化単語表現空間上の範囲の学習による語の多義性を考慮した頻度計数法 江原 遥 (静岡理工科大)

5日午前 対話

1. 話題展開器を導入した外部知識に基づくニューラル対話モデル ○田中涼太・李 晃伸 (名工大)

2. 会話情報から複数の発生事象の関係を推定する運行状況案内システムの提案

○米原三揮・山上拓見・白木光彦・長谷川敬祐 (日立)

3. 疑似応答を用いた雑談対話システムの自動評価 ○薦 侑磨・吉永直樹・豊田正史 (東大)

NLC-4. 複数人議論の構造解析に向けた発話間における関係の有無の推定 ○姫野拓未・嶋田和孝 (九工大)

5日午後 生成/圧縮

5. 個別の発話スタイルを強調する Boosting Framework を用いた感情表現生成 ○尾関晃英・李 晃伸 (名工大)

6. 通販商品を対象としたテレビ60秒広告シナリオの構造分析と自動生成

○今頭伸嘉・平良裕汰朗・宮田 玲・佐藤理史 (名大)

7. 階層的な注意機構に基づき統語的な先読みを行う文抽出手法 ○上垣外英剛・奥村 学 (東工大)

国際会議報告

NLC-8. [依頼講演] 国際会議 EMNLP2019 参加報告 宮崎太郎 (NHK)

9. [依頼講演] 国際会議 EMNLP2019 参加報告 鷲尾光樹 (東大)

◎NL研表彰

音声言語シンポジウム

6日午前 セッション1: 深化する音声言語処理

SP-1. マルチチャンネル音声強調のための時間領域畳み込みデノイジングオートエンコーダ

○俵 直弘・小林哲則・小川哲司（早大）

2. 環境音とラベル情報のデュアルエンコーダに基づくスペクトログラムマスクの生成

○竹内博俊（東大）・大石康智・川西隆仁（NTT）・柏野邦夫（NTT/東大）

3. CNN フロントエンドによる End-to-End 連続 DP マッチングの高速化 ○田中智宏・篠崎隆宏（東工大）

招待講演

SP-4. [招待講演] 統計的音声合成の進展と展望 徳田恵一（名工大）

6 日午後 招待講演（13：10～）

5. [招待講演] 社会的知能を有する会話 AI メディアの実現に向かって 松山洋一（早大）

ポスターセッション

6. Development and Evaluation of Kaldi Extension Tools with Python

○Wang Yu・Hiromitsu Nishizaki・Akio Kobayashi・Takehito Utsuro（Univ. of Yamanashi）

7. 既知雑音環境下における雑音除去効果の音声認識による評価 ○LEOW CHEE SIANG・Hiromitsu Nishizaki

（Univ. of Yamanashi）・Akio Kobayashi（Tsukuba Univ. of Tech.）・Takehiro Utsuro（Univ. of Tsukuba）

8. 遠野物語における複数言語の音声認識モデルを用いた検索精度向上の検討

○飯田英仁・小嶋和徳（岩手県立大）・李 時旭（産総研）・伊藤慶明（岩手県立大）

9. 咽喉マイクによる多人数会話音声認識のためのデータ拡張

○鈴木貴仁（静岡大）・緒方 淳（産総研）・綱川隆司・西田昌史・西村雅史（静岡大）

10. CNN ベース識別モデルによる F0 推定と歌唱及び会話音声における評価

○川村智規・甲斐充彦（静岡大）・中川聖一（中部大）

11. Speech-linguistic Multimodal Representation for Depression Severity Assessment

○Rodrigues Makiuchi Mariana・Warnita Tifani・Kuniaki Uto・Koichi Shinoda（Tokyo Inst. of Tech.）

12. Native Listeners' Shadowing of Non-native Utterances as Spoken Annotation for Comprehensibility of the Utterances

○Lin Zhenchao・Yusuke Inoue・Shintaro Ando・Daisuke Saito・Nobuaki Minematsu（Univ. of Tokyo）

SP-13. [ポスター講演] 言語対の音素事後確率を用いた第二言語学習者の発音習熟度判別

○森 凜太郎・李 晃伸（名工大）

SP-14. [ポスター講演] ラベリング作業を必要としない seq2seq 音響特徴量推定手法の有効性

○栗原 清・清山信正・熊野 正（NHK）

SP-15. [ポスター講演] 公共空間におけるスピーチプライバシー保護を目的とした合成音声によるサウンドマスキングの検討 ○次井貴浩・高木信二・橋本 佳・大浦圭一郎・南角吉彦・徳田恵一（名工大）

SP-16. [ポスター講演] クラウドソーシングを用いた感情音声データベース JTES への主観ラベルの付与と分析

○山中麻衣・能勢 隆・千葉祐弥・伊藤彰則（東北大）

SP-17. [ポスター講演] Estimation of three-dimensional tongue shape from midsagittal tongue contour using regression models

○Tatsuya Kitamura（Konan Univ.）・Hisanori Makinae（NRIPS）・Masashi Ito（Tohoku Inst. of Tech.）

SP-18. [ポスター講演] l2 ノルム正則化に基づく時変複素音声分析 舟木慶一（琉球大）

セッション 2：多様な音声言語処理

19. 民話を対象としたアイス語音声コーパスと End-to-End 音声認識

○松浦孝平・上乃 聖・三村正人・坂井信輔・河原達也（京大）

SP-20. 歌声合成におけるニューラルボコーダの比較検討

○和田蒼汰・法野行哉・高木信二・橋本 佳・大浦圭一郎・南角吉彦・徳田恵一（名工大）

SP-21. 発話感情認識における音素事後確率を利用した表現学習とデータ拡張の評価

○岡田慎太郎（名大）・安藤厚志（名大/NTT）・戸田智基（名大）

◎学生ポスター賞表彰

◆NLC：情報処理学会；自然言語処理研究会連催。

SP：情報処理学会；音声言語情報処理研究会連催。日本音響学会；音声研究会共催，IEEE Signal Processing Society Tokyo Joint Chapter 協賛（音声言語シンポジウム）

☆SP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2020 年 1 月 28 日（火），29 日（水）高岡市内〔未定〕テーマ：未定